

主催:真狩村教育委員会様

## プログラミング研修会を開催させていただきました！

## 次年度、いよいよプログラミング教育全面実施！

- ◆これからは日本だけでなく、世界全体が予測不可能な時代へとなっていきます。特に、日本は、過去体験したこともないような人口減少時代へと突入していきます。こうした時代背景の中で、将来を背負う人材を育てるために論理的思考力や創造性、そして問題発見・問題解決力をかけがえのない一人一人の子供たちに身につけさせていく必要性が学校教育には問われています。令和元年6月25日には文部科学省から「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）」という報告書が発表されました。その報告書の中で、Society5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会)の時代に求められる教育について、次のように書かれてあります。

「AI等の技術革新が進んでいく新たな時代においては、人間ならではの強み、すなわち、高い志をもちつつ、技術革新と価値創造の源となる飛躍的な知の発見・創造など新たな社会を牽引する能力が求められる。また、そのような能力の前提として、文章の意味を正確に理解する読解力、計算力や数学的思考力などの基盤的な学力の確実な習得も必要である」

来年度から全面実施されるプログラミング教育は、未来に生き抜く人材育成の教育とっていいものです。今の小学生は、10年後、15年後の大人となって、Society5.0の社会を支え、生き抜いていくことになるわけです。そのためにもプログラミング教育が円滑に学校現場に導入されることが求められています。

## 各自治体・各学校では、プログラミング教育への準備が急ピッチ！

- ◆現在、各自治体・各学校現場ではプログラミング教育への準備が急ピッチで進んでいます。特に、9月には次年度から使用する新しい教科書が採択されるようですから、それに合わせて教育課程の編成が各学校では行われます。多くの学校では、プログラミング教育の全体計画、年間指導計画をどのように立てるのか、また評価等はどのようにするのか等の情報を収集しながら検討を開始しています。その反面、学校によっては、その教育課程の中にどのようにプログラミング教育を位置付けていくのか、またそもそもプログラミング教育とは何かといった基本的なところから共通理解するための校内研修を始めるなど、各学校の先生方のご苦労なさっているようです。
- ◆このプログラミング教育の実施し、教育の質を高めていくためには、校内のICT環境を整備しておく必要があります。その面では、インフラ整備や機器整備など、特に各自治体様が頭を悩ませているところかもしれません。

## 真狩村でのプログラミング教育研修会、大好評でした！

- ◆真狩村教育委員会様の主催でプログラミング研修会を開催いたしました。ご参加の先生方にとっては、夏季休業中の暑い中、多数お集まりいただき熱心に研修に励んでいただきました。ご参加の皆さん、お疲れさまでした。また、主催いただいた真狩村教育委員会様、大変ありがとうございました。研修会の概要は以下の通りとなっています。

## 真狩村プログラミング研修会の概要

## 【場所】

真狩村立真狩中学校

## 【日時】

2019年8月8日(木)午後1時30分～2時40分

## 【参加者】

真狩小学校教職員7名

真狩村教育委員会3名：合計10名

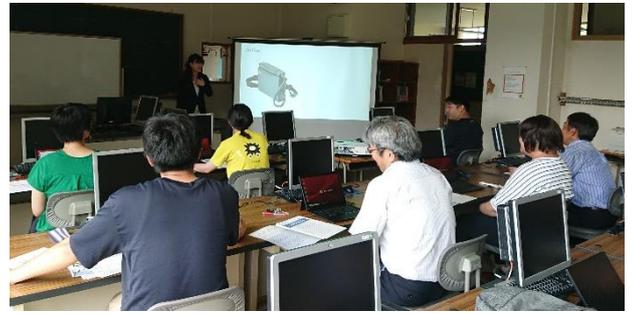
## 【内容】

- ・プログラミング教育の概要
- ・プログラミング教育の授業づくり
- ・プログラミング教育の教材について



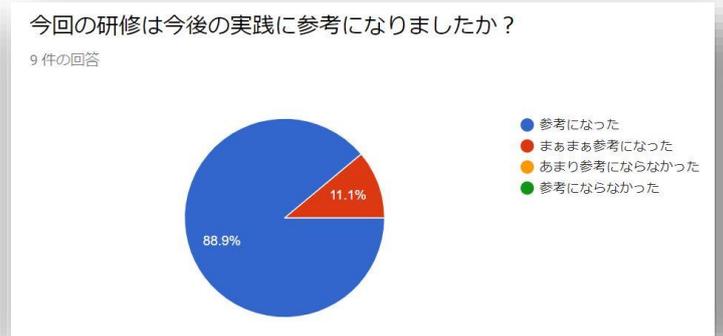
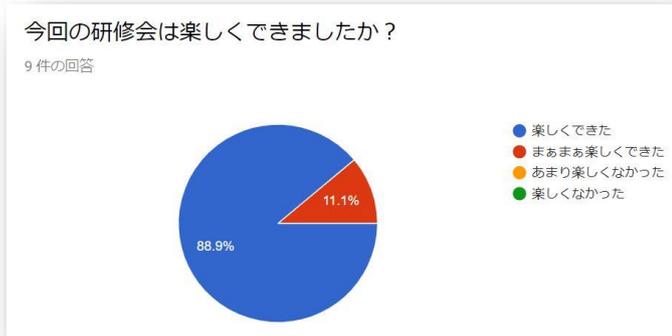
- ◆今回の研修会では、参加者お一人お一人にノートパソコン1台を持っていただきました。第一講座では、まずプログラミング教育の概要について話をさせていただきました。携帯電話等の発展やこれからの時代が向かえる Society5.0の時代について、プログラミング教育のねらいや教育課程等におけるプログラミング教育の位置づけについて話をさせていた

できました。第二講座では、実際にプログルというサイトを使って正多角形の作図に挑戦していただきました。最初は作図に手間取るところもありましたが、プログル操作に慣れると次々と課題をクリアしていきました。第三講座は、プログラミング教育の教材の一つである Sphero (スフィロ) という球体型ロボットを使っていただきながら、子供になった気持ちで、実際の体験を通してプログラミングを学んでいただきました。この球体型ロボットの操作、参加者の皆様方も興味を持って体験していただきました。



## 「プログラミング教育のイメージを持つことができました」

◆研修会終了後、ご参加の皆様方に今回の研修会について簡単なアンケートに答えていただきました。「今回の研修会は



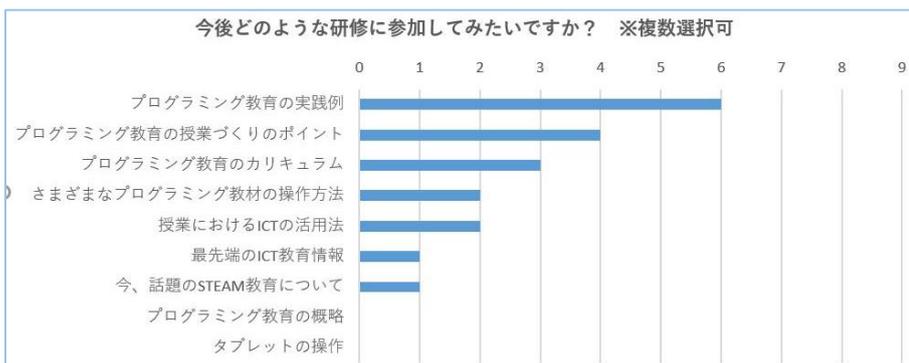
楽しくできましたか」と「今回の研修は今後の実践に参考になりましたか」の結果は、上のグラフのようになりました。参加者9名中8名の方々が「楽しかったです」「参考になった」と答えてくださり、好評だったことがうかがえます。また、1名の方はITに関する技能が中級程度の方でしたので、若干易しかったのかもかもしれません。

◆アンケートには、自由記述の欄も設け、様々なご意見等をいただきました。その全ての回答が右の通りとなっています。ご覧いただければお分かりのように、こちらの方も「よかったです」「大変勉強になりました」「楽しみながら受けることができました」など好意的な記述が並びました。その反面、「操作が難しかった」という方もいらっしゃいましたので、できるだけわかりやすいサポートも必要だと感じ、今後の改善点とさせていただきます。

◆「今後どのような研修に参加してみたいか」を尋ねたところ、「プログラミング教育の実践例」や「プログラミング教育の授業づくりのポイント」と答え

### 【参加者のご意見・ご感想】

- ・実際に使ってみることができてよかったです。
- ・もう一度お願いいたします。本日は、ありがとうございました。
- ・短い時間でしたが、プログラミング教育のイメージを持つことができました。
- ・操作が少し難しかったです。いつもマウスなので・・・
- ・すぐに授業に生かせると思いましたが、予算の問題もまずはクリアしなければと感じました。
- ・今回の研修を受けて、プログラミング教育が実際にどのような内容を学習しているのかが、わかりました。次は、先行実施している内容などを知りたいです。
- ・前回の理論から、初級の実践になった今回。大変勉強になりました。
- ・おもしろかったです
- ・教材を体験して楽しみながら受けることができました。ありがとうございます！



た方が多くいらっしゃいました。やはり研修会後の現場のニーズとして、授業実践に役立つことだと思われま。この面での研修プログラムを弊社では用意させていただいておりますので、ご要望いただければ対応させていただきます。

◆他の自治体・学校様でも、「是非私のところでもやってほしい」ということがありましたら、弊社に問い合わせいただければと思います。